2022年（令和4年）7月1日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第110号（夏号）

◇　くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる　◇

くげぬま探求クラブ創立30周年に向けて

世話人代表　大木 信一

くげぬま探求クラブは来年2023年に創立30周年を迎えます。30年というのは、私のような新参者にとってはとても長く感じられますが、創立当初から活躍されている方々にとってはどんな時間だったのでしょうか。いずれにしても一つの団体が30年にわたって地域社会活動を続けてきたということは素晴らしいことで、皆さん一人一人の健康、交流、好奇心の賜物であると改めて感じます。

さて、これまでも10周年、20周年、25周年の節目には、あらかじめ記念行事を企画・実行する委員会が設けられ、各部会や皆さんからの要望を募って記念行事を行ってきました。30周年に向けても5月の例会で記念行事委員会の設立が承認され、行事企画がスタートしました。皆さん奮って行事企画の提案をお願いします。

10周年記念行事では、なんと部会提案6件、個人提案45件の合計51件の中から8件の行事が行われました。当時のクラブ員の好奇心と熱気を感じさせる提案数でした。

① くぐひ記念特集号「私のこの10年」発行
② 佐藤康光棋聖による談話と指導対局（公民館共催）
③ クラブロゴ入りエプロン作製　④ 記念植樹（藤が谷公園、鵠沼松が岡公園）
⑤ 古本市での全員参加記念撮影　⑥ 探求クラブ10年史発行
⑦ ヤングハーツ大音楽祭　⑧ 「NPO三島グラウンドワーク」活動現地視察

20周年記念行事は毎月何かが開催されるように数が多く、11件が行われました。

① 習作展　②祝賀会　③ ホームページのリニューアル
④ 佐藤康光九段（前王将）による講話と指導対局（公民館共催）
⑤ 部会合同バス旅行（八ヶ岳1泊2日）
⑥ 佐江衆一氏の講演と公開パネルディスカッション（公民館共催）
⑦ みんなで歌おう楽しい音楽祭　⑧ クラブ憲章の制定
⑨ 鵠沼松が岡公園樹木名札設置　⑩ 10周年記念樹の説明板設置　⑪ 記念小冊子発行

25周年記念行事では、以下の8件が行われました。

① 鵠沼松が岡公園、藤が谷公園の記念植樹　② 世界遺産富岡製糸場バスツアー
③ 鵠っ子スクエア2018夏　遊べる・学べる体験教室　④ 公民館再生・修理・清掃活動
⑤ 災害研究部会公民館まつり展示　⑥ 記念祝賀会　⑦ 健康講座
⑧ くぐひ25周年記念特別号発行

現在は新型コロナ感染症の影響が依然として続いており、部会活動も以前のように自由活発に行われる状況にはありませんが、30 周年を迎える来年への期待を込めて、これまで以上にくげぬま探求クラブの地域活動参加への意義を示し、実感できるような記念行事にできればと願っています。

イベント報告

2021（令和 3）年度　鵠っ子将棋ルーム「春のトーナメント大会」開催報告

鵠沼公民館　杉本 亨

・くげぬま探求クラブと公民館の共催事業として毎月 1 回定例で小中学生を対象に囲碁・将棋ルームを開催しております。
・コロナ禍で定例のルーム開催が危ぶまれる中、知恵を出し合いながら子供たちが安心して楽しめる場を提供していただいていることに感謝しております。
・その定例ルームの集大成として、毎年「春のトーナメント大会」を開催していただいております。一昨年度は、残念ながらコロナ禍により中止となりましたが、昨年度はコロナ感染拡大予防対策を図り、3 月 20 日に開催することができました。
・今回は都合により将棋のみの大会となり、24 名の対戦となりました。
・当日、ホールには朝早くから、探求クラブの皆様が集まり、河村部会長のあいさつと説明のあと、会場設営になりましたが、慣れた動きで、あっという間にホール内に会場が出来上がりました。
・その後、続々と参加者が家族づれで集まり、ホール内がにぎやかになる中、河村部会長の説明と開会宣言で、大会がスタートしました。
・クラスをＡ．Ｂ．Ｃの 3 クラスに分け、トーナメント方式による対戦で、それぞれ対戦が始まりました。
・参加者は真剣に対戦していましたが、家族の方も子供の成長を楽しむかのように盤をのぞき込んだり（助言は禁止）、写真を撮ったりしていました。
・楽しい対戦時間は、あっという間に過ぎ、結果発表と表彰式が行われました。勝った子も負けた子もみんな晴れ晴れとしたいい笑顔で賞状や参加賞をもらい解散となり、その後手際のよい片付けで無事事業を終了することが出来ました。
・コロナ禍で活動を制限されている状況が続き、子供が伸び伸びとできる環境が少ない中、短い時間でしたが子供たちが楽しめる場を提供できたことは、くげぬま探求クラブのみなさんの活躍に依るところが大きいと感謝するところです。

鵠沼松が岡公園のベンチ製作

萩原 興成

昨年 10 月ごろ甘利部会長より翌年春に松が岡公園のベンチを 4 脚製作したい旨話があり、河村さんが推進リーダー、製作実行部隊として坂口隊員と萩原隊員が選任されました。

前回同様河村さんの構想をもとに、部材の選定やカット寸法等詳細を決め、甘利さんが市の担当窓口と交渉開始、そこでびっくりその担当者は当探求クラブ奥村さんの娘さんでした。おかげで順調に部材が納入され 2 月 21 日（月）に通常の清掃作業と並行し、若手隊員 4～5 名プラス塩川さんの飛び入り参加により製作開始されました。前回との違いは 2 脚から 4 脚に増加、座面の板が 3 枚から 4 枚にそれぞれ多くなったこともあり、当日に完成せず、3 月 6 日（日）に補強作業が持ち越されました。又、隊員は腕に覚えのある人も興味がある人も皆楽しそうに作業している姿は、いつものおじ様たちでした。

地域活動部会紹介

災害研究部会
地域とのつながりも促進して

柳田 敏雄

前回の部会紹介は「くぐひ 98 号（2019 年 7 月発行）」で、部会発足のきっかけについてご紹介しました。

今回はその後の動きについてご紹介します。部会は創部以降、毎月 1 回開催しており、くぐひ 98 号の発行当時には第 50 回を数えていましたが、その後コロナ禍での休会が相次ぎ、現在は第 71 回を数えています。

この間、第 60 回からは気象予報士の小川さんが入会して、気象予報に関して専門的でありながら分かりやすい説明で好評を博しております。この気象予報情報を受けて、防災はどうするかとの流れとな

り二人三脚で部会を進めております。

最近ノーベル物理学賞を受賞されたプリンストン大学上席研究員の真鍋叔郎氏の受賞理由は気候変動を基本的な物理法則で計算し予測が可能であることを立証したことにあることの紹介や、内閣府がこの8年に亘って促進を図っている施策で従来の国が定めた防災計画をもとに県・市とブレークダウンする上意下達の地域防災計画とは別に、同じ被災が予測される地区の住民同士が自主的に協議検討して策定した地区防災計画を自治体に提案することが出来る仕組みが施行され、その住民提案型の地区防災計画の各地の実例を紹介しています。

更に部会で発表する気象、防災情報をクラブの部会内に留めることなく身近なご近所である町内会へも広めるために、参加者もクラブ員に限らず、各町内会で災害に関心のある方にはゲスト参加として現在2町内会から参加して頂いています。

今後は市から全戸配布されている「ふじさわ防災ナビ最新版」の内容を逐次探求することにしております。

これは参加者に最新の防災計画内容を紹介するとともに地域への防災情報の普及は地域貢献を図るという創部当初の目標にも適うものと思われます。

気象・防災に関心のある方は災害研究部会への参加をお待ちしております。

健康を探求する会

健康で幸せな人生を送るための新部会発足！

西村 望

人生 100 年時代に健康で幸せな人生を送るために“健康を探求する会”が、4 月 28 日地域活動部門の一つとして活動を始めました。健康を元気の側から色々と探求します。

具体的には、テレビで放送された「ゲンキの時間」のビデオを鑑賞、その中に出てくるストレッチを実践し、その後、ビデオからヒントなどを得て、感想や経験をオシャベリします。

勿論それから発展したオシャベリでも結構です。健康情報の発信の場とします。しかし、医療や、暗い病気のオシャベリは、なるべく避けます。

事前に色々勉強して、発表して頂くのは歓迎します。その準備のために、次月のテーマを会の終わりに予告します。テーマは季節性のものを優先します。

このオシャベリは、健康で幸福な人生を送るために大変有意義なものと考えています。

ゲストの参加を歓迎します。会員を通じてメールで事前に田中章までお申し込み下さい。

「ゲンキの時間」について：正式名称は「健康カプセル！ゲンキの時間」。TBS 系で毎週日曜日 7 時から 30 分間全国ネットで放送されている健康に関する情報番組です。

部会は毎月第 4 木曜日午前 11 時から鵠沼公民館にて。部会長は西村、田中章さんと小山さんが補佐します。

シリーズ　明日から役立つ気象のはなし

（4）梅雨末期の豪雨

小川 隆

「タチアオイの花が茎の先端まで咲ききると、梅雨が明ける」といわれています。およそ 40～50 日間、タチアオイは茎の下の方から次々と花を咲かせ続けます。梅雨入りの頃に咲き始めると、ちょうど梅雨明け頃には茎の先端まで咲き終わるというわけですね（写真）。

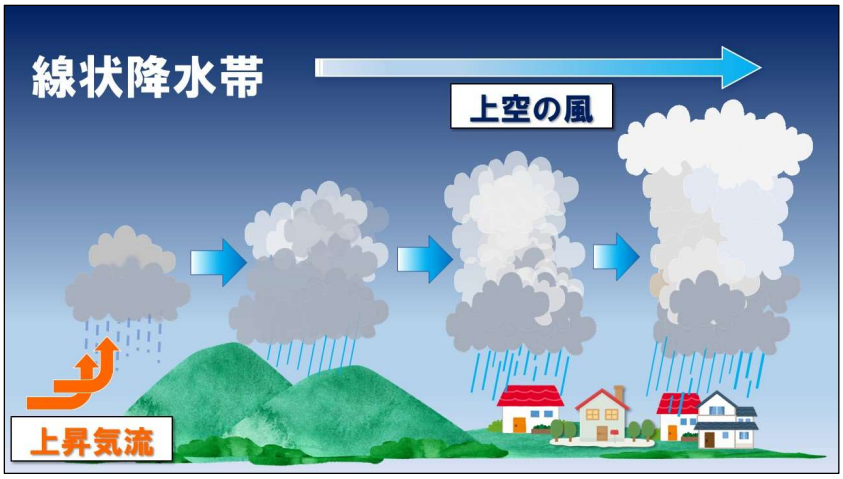
関東地方の平年の梅雨明けは 7 月 19 日頃になります。うっとうしい梅雨が明けるのは待ち遠しいものですが、梅雨の終り頃に注意が必要なのは「梅雨末期の豪雨」です。梅雨が終わりに近づくと、太平洋高気圧が西へ西へと張り出してきて南西方向から大量の暖かくて湿った空気のかたまりが押し寄せてきます。さらに南からも暖かい湿った風が吹きつけてくることで、梅雨前線付近で雨雲が発達し大雨を降らせます。もともと梅雨の末期は気温が高く、空気に含まれる水蒸気の量も増えるため、雨雲が発達する条件を満たしていることも大雨の要因となります。更に状況によっては同じ地域に非常に激しい雨が降り続く「線状降水帯（せんじょうこうすいたい）」が形成される恐れもあります（図）。

線状降水帯は次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列を作って数時間に渡りほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される雨域です。この結果として非常に強い雨が特定の地域に長時間連続して降り続けることとなり大きな災害が発生する原因となります。

（次ページへつづく）

更に、梅雨末期になると熱帯低気圧や台風が日本付近に接近する可能性が高くなります。2018 年 7 月豪雨では、台風 7 号の接近と梅雨前線の活発化で西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で記録的な大雨となり死者 224 人、行方不明 8 人、住家全壊 6758 棟など甚大な被害が発生しています。

温暖化の影響で、ここ数年は大雨の時期が梅雨末期の 7 月上旬に集中しています。2021 年 7 月 2 日、大雨により発生した熱海市伊豆山の大規模土石流災害は記憶に新しいところですが、2020 年 7 月上旬の熊本豪雨、2018 年の西日本豪雨、2017 年の福岡県朝倉市などで大きな被害が出た九州北部豪雨など 7 月上旬の大雨が顕著に増加しています。



これまでの大雨は九州を中心とする西日本で多く発生していますが、温暖化がこのまま進むと全国的に豪雨災害が増える恐れがあります。温暖化に付いては国連の気候変動に関する政府間パネル（ＩＰＣＣ）は、対策を行わない場合、今世紀末の世界の平均気温は産業革命前より 4 度超上昇すると想定しています。京大防災研究所では、この結果をもとに梅雨末期の 7 月に大雨が降る地域を推定した結果、2020 年代後半には岩手県でも現在の西日本並みの雨（月約 300 ミリ以上）が降るようになり、2090 年代には北海道の函館市付近まで広がる可能性があると発表しています。これは日本近海の平均海面水温が上昇し、大量の水蒸気が南の海上から日本列島に広く流れ込むようになるためとのことです。

多くの河川が流れる藤沢市では、前線や低気圧、台風などの影響を受けることで、様々な水害が発生するおそれがあります。日頃から防災意識を高め、ハザードマップ等で自分の居場所の危険度をあらかじめ把握し、避難ルートや避難場所なども確認・記憶しておきましょう。

平山画伯と共有した「ヒマラヤ」

谷村 彪

私がヒマラヤトレッキングに行ったのは 2004 年 10 月、あれから 18 年になろうとしている。メンバーは鈴木（英）さん、故黒川さん、そして私の友人 2 人を含めた 5 人であった。トレッキングそのものの話題も面白いのだが、今回はそれに絡んだ話をしたいと思う。11 年前のことだが、中身は今日でも決して色あせていないのでしばらくお付き合い願いたい。2011 年 2 月末、（まさか、その 10 日過ぎに、あの東日本大震災が起きるなどとは思いもよらず）私は会期が残り 1 週間となった催し物を観るため東京国立博物館・平成館に居た。目的はある壁画である。「仏教伝来の道・平山郁夫と文化財保護」展。平山郁夫画伯は国境にこだわらず戦争や災害によって被害を受けた文化財を救う活動にいち早く着目し、取り組んだのはよく知られている。

今回の企画展は 2 部構成となっており、第 1 部が「文化財の保護と継承・仏教伝来の道」第 2 部が「文化財保護活動の結実・大唐西域壁画」である。

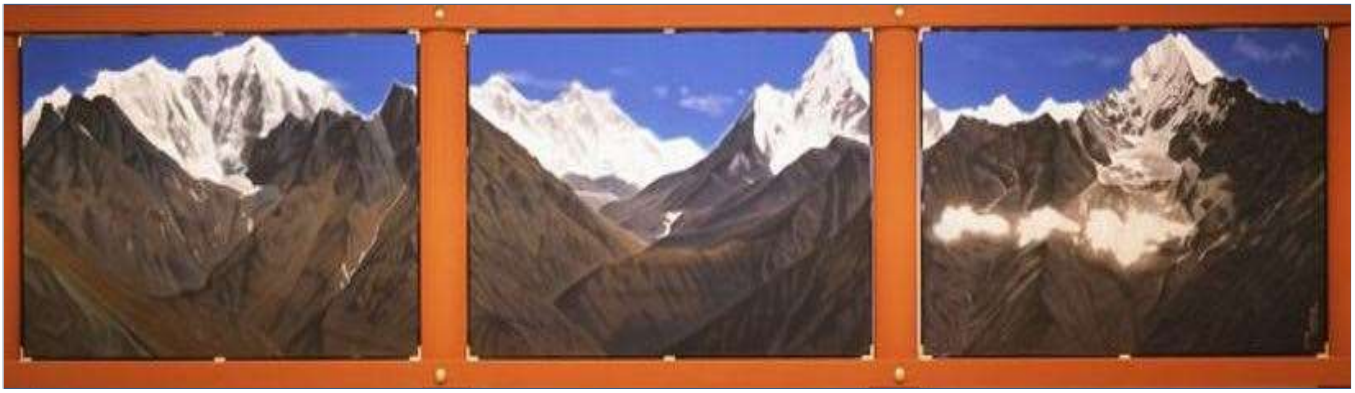
私はこれまで平山画伯といえば“シルクロード”、“シルクロード”といえば平山画伯という程度で毎年カレンダーでその雰囲気を感じとるのみであった。が、今回あるキッカケで、実際にその壁画を観ることになったのだ。そのキッカケとは、この企画展のＰＲチラシに描かれている絵（壁画）と、その紹介文であった。その絵は私がトレッキングで 2004 年にエベレスト街道から肉眼で見た峰々そのものであった。正面にエベレスト、そしてその手前にローチェ、アマダブラム、タムセルクといった 7000m から 8000m級の山々が描かれていたのである。紹介文を要約すると「万年雪をかぶり、天高くそびえる険しい山々---。故・平山郁夫画伯がその集大成として描いた「大唐西域壁画」のクライマックスは、第 4 場面＜西方浄土須弥山（さいほうじょうどしゅみせん）＞である」と。

これはどうしても自分の目で確認しなければ・・・と訪れたのが会期終了間近かの 2 月末であったのだ。

会場にはインドや中国、カンボジアなどで平山画伯が私財を投じて集めた仏像や、戦争の混乱でアフガニスタンから流出した壁画などの文化財が展示されていたが、私のお目当ては第 2 部の「大唐西域壁画」、その中の＜西法浄土須弥山＞である。この壁画は平山画伯が 20 年以上かけて制作し 2000 年 12 月奈良・薬師寺に奉納され、寺外では今回初めて公開されたのだという。画伯は唐の時代に僧が中国・長安からインドのナーランダ寺院に至るまでを 7 場面（13 枚の壁画）の設定で描いている。

（次ページへつづく）

展示場に入ると縦 2.2m の壁画が 123 枚、全長 37m にわたりスポットライトを浴びている。その中で特に目立つのが中央に位置する＜西方浄土須弥山＞。横 9.6mもある。須弥山は仏教の宇宙観において、世界の中央に聳えるという山で平山画伯はこの一連の壁画の本尊としてヒマラヤ山脈をモチーフに選んだとい



奈良・薬師寺に奉納された「平山郁夫画伯」の「大唐西域壁画」

う。平山画伯は 1981 年 12 月にヒマラヤの荘厳さと凍てつく寒さを描くべく標高 4000m のエベレスト・ビューへの取材を敢行したとのことである。

私はこの壁画の前で 30 分以上足止めさせられた（魅せられた）。最初は中央、そして右、左、また中央と場所をかえ縦 2.2m、横 9.6mの大壁画をじっくりと見直した。私が現地で見た 2004 年 10 月のシーンが蘇ってきたのである。それにしても、さかのぼること 20 数年前、平山画伯が同じ場所でスケッチをしていたとは・・・・。

筆者が撮ったエベレスト

話はこれで終わらない。平山画伯がスケッチしたのは 1981 年（私の写真は 2004 年）。23 年も前の話である。その後、当時の紀行文が朝日新聞の夕刊に掲載されていることを知り、2013 年 9 月初旬、国立国会図書館に行く。目指すは新館 4 階の新聞資料室。ここには国内及び主要な外国の新聞原紙、縮刷版、復刻版、マイクロフィルム資料、国内の切り抜き資料などが全て揃っているそうだ。

初めてなので、先ず 1 階で利用者登録をしてカードを発行してもらいエレベーターで 4 階の新聞資料室へ。資料室は長方形の部屋で結構広い。ウィークデイでもありカウンターの係員の方が目立つぐらい室内はガランとしている。

お目当ては 1982 年 2 月 1 日（月）から 2 月 13 日（土）まで 11 回にわたり掲載された夕刊コラム「日記から（ヒマラヤの旅）」。前年の 12 月 22 日にネパール・ルクラからエベレスト街道を高度 4000 メートルまで登り、翌年の 1 月 1 日、カトマンズで元旦を迎える日までの 11 日間を日記風に綴ったものである。

縮刷版をコピーしてもらい、家でじっくり読み直す。私と同じコースなので活字を通して当時の光景がひとつひとつ蘇ってくる。平山画伯が冬休暇を利用して（厳冬期に）奈良薬師寺依頼の壁画取材のためにスケッチトレッキングに行った時の日記である。途中、軽い高山病にかかりながらも高度順応を繰り返して 4000 メートル地点に達し、ヒマラヤの峰々を部分描写したのである。

平山画伯のコラムから、その一部を抜粋してみよう。

「朝 7 時起床。雪で消えてしまった昨日が嘘のように晴れ上がり、神神しいエベレストがまた鮮やかに浮かび上がっている。戸外で写生をすると手袋をしていても手の感覚が無くなってくる。家内は軽い高山病にかかり、顔面が少し腫れあがってきた（後略）」（1981 年 12 月 26 日（土）記・「日記から」1982 年 2 月 5 日掲載）

こうして＜西方浄土須弥山＞の素描が完成し、以後 20 年にわたる期間を要し 2001 年 1 月 1 日に奈良薬師寺に奉納された。

本編は平山郁夫画伯の企画展での＜西方浄土須弥山＞からコラム「ヒマラヤの旅」まで、私の「ヒマラヤトレッキング」との共通部分が多く感じられたので、自分勝手に「平山画伯と共有したヒマラヤ」とさせていただいた。

ビフォア・アフター

何時まで頑張れるだろうか

永利 文男

鵠沼に来たのは約 40 年前である。探求クラブのことはかなり前から知っていたし、勧誘もされたように思う。70 歳頃仕事をやめた。趣味と言えるものもなく、特記すべきこともない生活を送っている。探求クラブに入ったのは、2015 年 7 月だったと思う(途中で病気の治療のため、一旦退会し、再入会した)。その年の 4 月に家内がなくなった。葬儀等で混雑の時期が過ぎると一人だけの生活がはじまった。孤独な生活もそれほど気になるたちではない。しかし、物忘れが気になっていたし、何日間もほとんど話をすることがない状況を考えると、ボケが早まるのではないかと気になった。話す機会をもつことが必要と考え、探求クラブに入れて頂いた。探求クラブでは、鵠沼松が岡公園愛護会、鵠っ子囲碁・将棋ルーム、探訪部会、近代史を語る会、たまにサロン会等で、細々ながら探求クラブをエンジョイしている。探求クラブには属していないが、やもを会は欠かさず参加している。

探求クラブに入会して何か変わっただろうか。特に何か変わったという意識はない。しかし、予定表を眺めると、月 1 回の定期診療日、やもを会の開催日、一番多いのが探求クラブへの参加予定日、通常これだけである。何か新たに打ち合わせをするときは、探求クラブへの参加日と重ならないように確認することがよくある。こう考えると、探求クラブは生活の一部になっていると言えそうである。

最近は、体の機能がかなり低下しているが、仕方がないと思う。特に聴力の衰えがひどく、毎月の例会に出席しても、配布資料がなければぼんやりとしかわからない。体の方は衰える一方であり、いつまで頑張れるだろうかと考えている。

流されゆく鵠沼の日々

池田 修

ほとんど鵠沼の街のことを識らないまま 30 年余、東京への通勤生活をしていました。68 歳の終りに全くのフリーになった時、さてこれからどうしていくか、カルチャースクールにでも通いながら考えよう・・・。実は、このくらい私はノー天気でした。

ほどなく、縁あって男声合唱団ヤングブラザーズ（ヤンブラ）にゲストで入団しました。その時点で、くげぬま探求クラブ（探求ク）のことは全く知りませんでした。しかし、少し時間が経つと、どうも団員の相当数が探求ク員だということが分かって来ました。それもそのはず、ヤンブラは探求ク傘下の組織だったのですから。このように、先へのハッキリした目算がないまま、私の鵠沼暮らし第二幕が開きました。以上がビフォア。

ヤンブラで 1 年過ごした後探求クへ入会、今年 11 年目になっています。時々『もし探求クに入っていなかったら今の自分は、どうだろう』って考えるのですが、そのたびに答えは出ません。探求ク入りしていなければ、その後はゲストのままヤンブラで活動し多少音楽的な生活も維持しながら、時に横浜あたりで安酒を呑む、小旅行に出かける、無味乾燥のギャンブルでもする、と害のない爺さんになっていたでしょう。これでは充実した余生、とは云えません。

もともと一つのことを突き詰めるたちではなく粘り強さもない私なので、何かの道を極めるはずはなく、金儲けをするためのリテラシーにも乏しいので、小金をためながら淫靡にかつ適当に老年者の楽しみに浸ったりすることも出来なかったでしょう。

探求クの『他人（ひと）のために地域活動をやり、自分自身を磨き・楽しむ』なんて高邁な目標が、自分に全く無いわけではないと思いたいのですが、探求クの一員になっていなければ、時はきっと無為に流れていたでしょう。

だから今、探求クと仲間のみなさん、そして健康でいられることに感謝するばかりです。

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の大木」までご連絡下さい。
ホームページアドレス　http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/ 、
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

～例会・各部会活動報告～

３月　March

○例会５日(土)39 名◆第３談話室、抽選による座席。花見は中止。「健康を探求する会」の設立を地域活動部門で承認
○世話人・委員会　①世話人会２日６名
②アーカイブ委員会 19 日(土)9 名 ◆探求倉庫内紙資料作成の割当◆保存ファイルは PDF 又その他を追加
③くぐひ制作部 9 日(水) 11 名 くぐひ 109 号(令和４年春号)の第３回編集会議、原稿の推敲
○鵠沼松が岡公園愛護会６日 13 名、20 日８名　清掃
○藤が谷公園愛護会 13 日 11 名　清掃
○おもちゃの病院　13 日 13 名 来院 42 名、27 日 14 名来院 25 名、21 年実績開院 15 回、来院者 333 名
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 20 日 春のトーナメント大会 13 名(1) 公民館１名､子供 21 名　３年振りの大会　公民館担当が保子さんから杉本さんに替わる
○災害研究部会　４日 15 名(2)、藤沢市地域防災計画等。
○極楽部会 16 日 公民館 15 名 リビングウィル
○健康部会 25 日 10 名 伊勢山公園 大場城址
○農園部会 ６日８名、17 日７名、各種野菜の植え付け
○談話室 16 日 14 名 探求 30 周年企画など
○デジタル情報部会 28 日 18 名 PC の健康診断法、VR.AR.MR 応用の実際など
○似歌会 通信句会 10 名 兼題「春の到来」で 30 句

以下の委員会・部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○ヤングハーツ○子どもと遊ぶ会○メディア委員会･ＨＰ制作部○サロン会○ヤングブラザーズ○探訪部会○カラオケ部会○近代史を語る会○企業研究部会○なつかしの名盤愛好会○おひる探Ｑ会

４月　April

○総会２日(土) 38 名。令和３年度活動報告・会計報告、４年度予算.運営方針及び監査役を原案の通り承認
その後例会、佐伯浩さんが退会　席は３ヶ月毎に抽選
○世話人・委員会 ①世話人会３月 22 日臨時世話人会にて総会資料を検討、３月 30 日通例、共に６名
②アーカイブ委員会 16 日(土) ９名 スキャンの収納等
③くぐひ制作部 13 日 ９名　第 110 号(令和４年夏号)第１回編集会議
④メディア委員会及びＨＰ制作部は休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 ５日 10 名、17 日８名 清掃
甘利会長、萩原副会長、大木会計の体制
○藤が谷公園愛護会 10 日 10 名　清掃活動
○おもちゃの病院 10 日 12(2)名 来院 24 名、24 日 参加 11(1)名 来院 16 名、少女より小さな花束の贈呈
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 17 日 参加 子供 15 名 探求６名 公民館１名 子ども同士の対戦が主
○災害研究部会 １日 14 名(3)春先の爆弾低気圧など。
○極楽部会 20 日 13 名 リビングウィルに載せる項目
○健康を探求する会 28 日 ８名 幸いのホルモン
○健康部会 雨で中止
○農園部会５日６名、19 日５名、各種作業
○談話室 20 日 14 名 30 周年行事、新入会員募集など
○デジタル情報部会 25 日 18 名 DX とは等
○ヤングブラザーズ ９日 16(7)名、１月から休会だったが再開
○似歌会　通信句会 10 名 30 句 兼題は「桜餅」

以下の部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○ヤングハーツ○子どもと遊ぶ会 ○サロン会 ○探訪部会 ○カラオケ部会 ○近代史を語る会 ○企業研究部会 ○なつかしの名盤愛好会 ○おひる探Ｑ会

５月　May

○例会７日(土) 36 名 30 周年記念行事委員会の設立及び田中章委員長代行を承認。在庫管理報告
○世話人・委員会 ①世話人会 ４日６名
②アーカイブ委員会 21 日 ８名　各種打ち合わせ
③30 周年記念行事実行委員会 25 日 ８名 第１回会合
目的と役割、委員長(田中章)選出、タイムテーブル
④くぐひ制作部 11 日６名 第 110 号の２回目編集会議
⑤メディア委員会・⑥HP 制作部 は休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 １日 17 名(1)、15 日 12 名
○藤が谷公園愛護会 ８日 12 名(2) 清掃
○ヤングハーツ 11 日 亀吉演奏活動開始
○おもちゃの病院８日 12(2)名 来院 21 名、22 日 10 名来院 31 名 修理依頼が多かった
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 15 日 子供 18 名 探求６名 (1) 保護者４名 予約制下も多数の子供が参加
○災害研究部会 ６日 12 名(2)、藤沢防災ナビなど
○極楽部会 18 日 13 名、リビングウィル３回目
次回より部会長が坂口さんに交代
○健康を探求する会 26 日７名(1)健康診断予備知識
○健康部会 雨で中止
○農園部会 １日８名、17 日６名、24 日５名で作業
○談話室 18 日 14 名 30 周年記念行事、スポーツ
○ヤングブラザーズ 14 日 13 名 28 日 14 名で練習
○デジタル部会 23 日 18 名 セキュリティ、翻訳等
○俳句の部会「似歌会」第 116 回通信句会 10 名 30 句

以下の部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○子どもと遊ぶ会○サロン会○探訪部会○カラオケ部会○近代史を語る会○企業研究部会○なつかしの名盤愛好会○おひる探Ｑ会

( )内はゲスト人数で内数

クラブ短信

・５月９日（月）鎌倉 PG にてクラブのゴルフコンペがゲスト２名を含む 12 名で開催、雨の予想も、競技中は降らずに済んだ。優勝：森（正）さん、準優勝：米田さん、３位：田中（力）さん、ベストグロス：玉田さんであった。次回幹事は森さんと米今さん。
・今年２回目となる恒例のボウリング大会が６月８日（水）に江ノ島ボウリングセンターにて開催された。今回の参加者はゲスト２名を含む計６名であった。優勝：森（正）さん、２位：山田さん、３位：佐々木（黎）さんであった。

自 由 席

「八十の手習い」の奮闘

五島 寛之

趣味の一つとして永年続けてきた「ボイストレーニング」のレッスンを 80 歳を機に終止符をうち、高齢者特有のあり余る時間の活用を模索していたところ、鵠沼公民館ロビーの掲示板に「墨水会」という習字のサ―クルが目に止まり、習字ならば高齢になってから始めるのに抵抗もなく「八十の手習い」に格好の習い事であると思い何の戸惑いもなく入会した。

このサークルは月 2 回の稽古と他に、毎年「書初め」と「公民館まつりの展示」の二回の催しものがあり、それぞれの題名は自らが決め、たった一枚の作品を完成させるのに数十枚の練習書きをし、先生の添削を受けて作品に仕上げ出品をするのである。

習字は実用的で日常生活に役に立つという事で、以前から興味は持っていたが、所詮ゼロから始めるのでそれは苦しみの連続であった。当初は独特の緊張感から文字にならず、入会はしたものの趣味の範疇どころではなかった。だが、ゴルフの喩えではないが数打てば当たるで毎日書きまくり、早 5 年が経過した。

最近は自然と集中力が身につき姿勢も良く、無心になり、ようやくバランス良くきれいに整のった字が書けるようになってきたと自己満足していたが、先生の評価は相変わらず厳しく添削指導の繰り返しで、まだまだ反省しきりの作品に終始している。

今更ながら奥深い芸術性のある「書道」を目指す訳ではないが、見栄えの良い作品が出来るようになるには、何時になるか、いまだ道のりは遠いようである。

それでも習字には何か魅力を感じており、今後もこれに時間を費やし、いずれは床の間に作品を飾って観賞する日を夢見ながら「八十の手習い」を楽しんでいきたいと思っている。

なお、その一例として毎年行われている鵠っ子囲碁・将棋ルーム「春のトーナメント大会」の賞状の宛名書きを、今までの経験から曲がりなりにも任させてもらっている。このような機会が続く間、これからも携わるつもりである。

くぐひ制作部より

前号の記事『卒寿を迎えた三人』に誤りがありましたのでお詫びするとともに次の通り訂正します。

北村裕彦(5 月生まれ)→北村裕彦(6 月生まれ)、佐藤恒夫(6 月生まれ)→佐藤恒雄(5 月生まれ)

編集後記　会社を引退した頃の男性たちが、近くに住んでいることで偶然に出会い、立ち上げた「くげぬま探求クラブ」が活動を継続し、来年は 30 周年を迎える。世話人代表が記念行事準備について巻頭記事を投稿。盛況裏に終えた恒例の囲碁・将棋トーナメント大会報告については鵠沼公民館の杉本亨さんに執筆頂いた。松が岡公園に新たに 4 脚のベンチが製作・設置されたので萩原さんが経緯を報告。部会紹介では災害研究部会と新発足の健康を探求する会が登場。小川さんが明日から役立つ気象の話（第 4 話）を。谷村さんが平山郁夫画伯とヒマラヤにちなむ長文の思い出話を披露。ビフォア・アフターの欄には池田修さんと永利さんが、自由席には久々に五島さんが書道の話で登場した。　（塩爺）

会報　くぐひ　第 110 号
2022 年 7 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 大木 信一
編集長 塩川 昌男